

## WCS 用稲極短穂茎葉型品種「つきあやか」の栽培実証

### 要約

WCS 用稲極短穂茎葉型品種「つきあやか」(中生)において、イタリアンライグラスとの二毛作を想定した場合の栽培実証を行った。「つきすずか」(極晩生)と比較した結果、中生の品種特性を示し、収穫期は25日ほど早い、風乾物収量は0.65t/10aほど少なかった。両品種共にサイレージの品質は極めて良好であった。中生・晩稲品種の選択は、稲 WCS の収量を重視するか、イタリアンライグラスとの二毛作の中で、播種に向けた作業期間の確保を重視するかによって決定する必要がある。

### ○ 展示のねらい

WCS 用稲極短穂茎葉型品種「つきすずか」(極晩生)や「つきあやか」(中国試225号・中生)において、イタリアンライグラスとの二毛作を想定し、栽培特性、収量性、品質および収穫等の作業性についての比較を行った。

区	品種	栽培方法
供試区	つきあやか	移植日：5月26日、収穫日：10月15日
対照区	つきすずか	施肥条件：堆肥散布2t/10a

### ○ 主な成果

表1. 坪刈り調査結果(調査日：令和3(2021)年10月12日)

区	出穂日	稈長 (cm)	草丈 (cm)	茎数 (本)	乾物全量 (kg/10a)	乾物茎重 (kg/10a)	乾物穂重 (kg/10a)
供試区 (つきあやか)	8/12	93.9	129.8	21.8	1,457	1,380	76
対照区 (つきすずか)	9/8	119.3	158.4	18.6	2,107	1,883	224

・乾物の全重は供試区が対照区に比べて650kg/10a多かった。一方、乾物の穂重は供試区の方が対照区に対して148kg/10a少なく、穂重割合は供試区の方が対照区より低かった。

・草丈及び稈長は、供試区が対照区に比べて20~25cm程低い値であり、茎数は供試区が対照区に比べて多かった。

・サイレージにした際の発酵品質は両区共に非常に良く、各項目でも大きな差は見られなかった。

表2. 稲WCS発酵品質調査結果(調査日：1月19日)

区	DM (%)	水分 (%)	栄養価(乾物中%)						pH	V- SCORE
			CP	EE	ASH	NDF	ADF	TDN		
供試区	35.7	64.3	7.9	2.9	11.6	45.6	29.1	47.9	3.9	100
対照区	35.3	64.7	7.5	2.9	8.0	46.7	28.3	49.8	4.0	100

### ○ 今後の方向性

イタリアンライグラスとの二毛作体系として「つきあやか」(中生)・「つきすずか」(晩成)どちらの品種を採用するかは、稲 WCS の収量を重視するか、イタリアンライグラス播種に向けた作業期間の確保を重視するかにより判断し、新品種の現場導入を推進する。

実施機関：下都賀農業振興事務所経営普及部 実施場所：栃木市

問合せ先：栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315